

ボランティア・
NPOの情報誌



61号

Oct. 2022

とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地

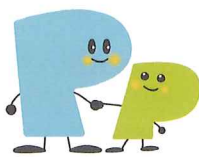
沖洲マリンターミナルビル1F

tel:088-664-8211 fax:088-664-5345

e-mail:info@plaza-tokushima.com

https://www.plaza-tokushima.com

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日、年末年始)



マスコットキャラクター プラザ

CONTENTS

特集 NPO法人 里山みらい
代表理事 永野 裕介さん
すだち愛が止まらない…

ひと 社会教育×運動・スポーツサポート 修ちゃん塾
代表 佐古 修司さん
～ 子どもたちのヒーローになる! ～

シリーズ この人から
NPO法人 阿波農村舞台の会
理事・事務局長 佐藤 憲治さん
地域の信仰を支える人形

事業報告
「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

ハートリレー
No.61 高田さんから住瀬さんへ

NPO法人

里山
みらい

里山の自然環境や伝統文化などを受け継ぎ、
都市に住む人も、里に暮らす人も、共に支え合う、
みんなの里山を一緒に創っていこうと、
日々活発に活動している団体です。



『すだち愛が止まらない…』

ながの ゆうすけ
代表理事 永野 裕介さん

2013年、子どもが生まれるのを機に、千葉県から移住し、神山町の地域おこし協力隊として活動を始めました。その活動の中で出会ったすだちの素晴らしさに、料理好きの私は、感動しました。素材を引き立ててくれる名脇役なんです。それに気付いてからは、365日すだちのことを考えています。

3年間の地域おこし協力隊の活動中に、仲間と共にNPO法人里山みらいを立ち上げました。今、力を入れているのが、「すだち農家の人材育成」と「販路拡大に関するPR」です。

人材育成では、高齢化等で耕作できなくなったすだち畑を借り受け、その畑を使って、農業研修生を2年間掛けて育て、修了後は、すだち農家として栽培に取り組んでもらっています。

また、すだちを高級品としてだけでなく、徳島のみんなが使っているように、普段使いして欲しいと思い、多様な楽しみ方をフェイスブックやInstagramなどを活用してPRしています。

PRといっても、すだちを商品として知ってもらうだけではダメで、生産者が儲かる仕組みにしたいんです。そうすることで、「楽しくて、カッコよくて、稼げる、すだち農家」、先進技術を駆使したスマート農業として、若い人にも関心を持ってもらえるんじゃないかと思っています。

何にでも使えるすだちは、人と人を繋ぐツールとなり得るくらいのパワーを持っています。すだちが生んでくれた繋がりが、仕事の楽しさになっています。すだちを使って喜んでもらった時や農家さんから温かい言葉をもらった時は、自分たちの思いが伝わったなあと思い、やりがいを感じます。



今後は、スマート農業をはじめ、援農(収穫等の農作業の手助けをするサポーター)の受け入れや有機JAS(農薬や肥料等を使わずに作られた農産物)の認証取得にも力を入れていきたいと考えています。

すだち発祥の地、神山の農業を守るために、私たちを応援してくれる大勢の方たちと、売り手と買い手という関係ではなく、一緒にすだちのことを考える仲間として、すだちの食文化を次世代に繋げていきたいと思っています。

長年住んでいた東京を離れ、出身地である徳島に戻ってきました。外で体を動かす仕事がしたいと思っていたところ、永野さんと出会い里山みらいの活動に誘っていただき、今年4月からメンバーになりました。

まだ、一年を通しての活動を経験しておらず未知なところもありますが、今はすだちの木相手の活動サイクルに体を合わせることに一生懸命です。

これまでは、働いた対価として給料をもらうことが当たり前でした。住む地域のために働くということは経験したことがなく、戸惑うこともあります。しかし、関係する農家さんの状況を知れば知るほど、大事な意味を持つ活動だなと感じています。

今はまだ農家さんに教わる立場ですが、いずれ指導者になる立場なので、早く教えられるように知識を深めたいと思っています。マニュアル通りにはい

生産部マネージャー
さとう つよし
佐藤 強志さん

かないことがたくさんありますが、どんと構えて対処できるように経験を積みたいと思います。

神山すだちについては、新規就農者の確保が必須です。農家の高齢化に伴う耕作放棄地の増加など、課題が多くあります。機械化だったり、援農のシステムを作ったり、日本一のすだちの生産がこの先も続いていくように里山みらいで活動に励みたいと思います。



すだち農家の人材育成

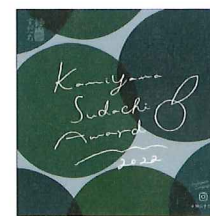
神山町では過疎・高齢化が進み、後継者がいない農家が増えていきます。そこで、神山町、JA名西郡と協定を結び、高齢化している農家を支援するため人材育成に取り組んでいます。



研修生(1年目)
おかもと まなぶ
岡本 学さん

家を継ぐに当たって、実家以外のすだちの栽培方法を学ぼうと思い、研修に参加しました。我が町の農業発展のために、自分と同じように就農する人が増えて欲しいと思っています。研修制度を利用して成功したすだち農家の前例があると、やってみようとする人も増えると思うので、早く、安定した生活が出来る、一人前のすだち農家になれるよう、日々真剣に、すだちと向き合っています。

里山みらいは、一農家では出来ない取り組みや、自分たちにはない発想で、工夫を凝らした営業活動をしていて感じます。今では、神山すだちの認知度を上げるためには、なくてはならない存在です。



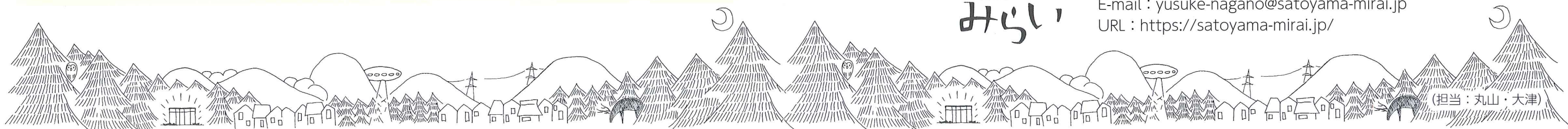
販路拡大のためのPR活動

全国の飲食店ですだちを使った新しい料理を考案し提供してもらい、その様子を写真で投稿する「すだち遍路」や、すだちを使った料理やお菓子などの画像や動画を投稿しすだちの魅力を伝える「KAMIYAMA SUDACHI AWARD 2022」などのキャンペーンを写真共有アプリ「Instagram」で例年開催しています。

NPO法人

里山
みらい

〒771-3203 名西郡神山町鬼籠野字東分3-1
TEL: 088-676-0310 FAX: 088-603-1754
E-mail: yusuke-nagano@satoyama-mirai.jp
URL: https://satoyama-mirai.jp/



(担当: 丸山・大津)

今回は、運動・キャリア教育を中心に、子どもたちの自分らしさを引き出し、自立心を育てる環境づくり活動をされている佐古修司さんにお話を伺いました。

佐古さんは、医療専門学校卒業後、大阪で主に高齢者のリハビリに携わる仕事をされていました。病院勤務中に理学療法士免許を取得し、その後徳島にUターン。これまで従事した理学療法士としての経験や、地域と密着した活動実績を活かして起業し、県民の健康をサポートすることで社会貢献したいという強い思いから団体を設立しました。

ある日活動のひとつで、サッカースクールから体幹トレーニングの依頼を受けました。そこで、子どもたちが、スポーツに一生懸命向き合う姿、無邪気に楽しむ笑顔と、キラキラ輝く澄んだ目に感銘を受け、子ども中心の活動にシフトすることとなります。

更に、発達障がいの子供たちと関わったことで運動が苦手な子どもたち、発達障がいが気になる子どもたちでも苦手意識を克服して、運動を楽しめるようなサポートと、現在、児童福祉施設にも携わっており、総合支援も行っています。



子どもたちのヒーローになる!

社会教育 × 運動・スポーツサポート

修ちゃん塾 代表 佐古 修司 さん

さこ しゅうじ

TEL: 090-8976-7027

E-mail: shuchanjuku614@gmail.com



また、キャリア教育では、各学校で出前授業の講師をしています。子どもたちが佐古さんオリジナルの“夢キャンパス”を作成し、夢を持つことの楽しさ、夢を叶えるために今できることは何かを考えます。まずは、自分を知ること、自信につながり、喜びとなる。そして個々の個性を尊重し、お互いに助け合いながら、それぞれが自立することを目的にお話をしています。子どもたちには、「完成図にフォーカスするのではなく、苦手だった物事を克服するまでの過程に学んだこと、感じたことにフォーカスして完成した喜びを何倍にもして味わってほしい」そうです。

今後の想いとしては、関わった子どもたちが巣立ったあとも「『困ったなあ』という時に『そうだ！修ちゃんに相談しよう』と思ってもらえるようなヒーロー的存在でありたいですね。僕自身やりたいことをやっているの、苦労はないです。大人が楽しんでいる姿を見せることで、子どもたちが大人になることを楽しいと思い、ステップアップできる。そのために自分が常に楽しめる環境づくりをするようにしています。」とおっしゃっていました。世の中にないものを新しく創り出し、常に進化し続けたいという姿勢は、“修ちゃんらしさ”として輝き、みんなのヒーローであり続けることとなるでしょう!(^^)!

(取材：北岡・佐藤)

シリーズ この人から

地域の信仰を支える人形

NPO法人 阿波農村舞台の会 さとう けんじ
理事・事務局長 佐藤 憲治



徳島では、人形が地域の人々の信仰を支える役割を担っている。

「人形には神さまが宿りやすいのです。」毎年お正月に1000軒以上の家を三番叟と恵比寿の人形を持って門付けに回っている「阿波木偶箱まわし保存会」の人たちの言葉である。人形には、わずらわしい人間関係もないし、悪い趣味もない、純粋な存在だから神さまが宿るのだという。

また、毎年4月の第一大安の日には、勝浦座の恵比寿の人形が、小松島市の和田島漁協に大漁祈願に訪れる。地域の氏神様にえびす舞を奉納した後、漁港やちりめんの加工場、漁場である海に向かってえびすが舞い踊る。えびす様が来てから、その年の漁が始まるのである。

農村舞台の公演も、鎮守の神に人形浄瑠璃を楽しんでもらい、来年の豊作や家族の健康を祈願するものであり、今も暮らしの中に人形の役割があることに、徳島の豊かさを感じる。

阿波十郎兵衛屋敷では、えびすが大漁祈願をして採れる和田島のちりめん、神山町の農村舞台保存会の会長が丹精込めてつくるすだちなど、阿波人形浄瑠璃にゆかりの品々を詰め合わせた「徳島じょうり物語セット」をお中元、お歳暮のシーズンに販売することでも、阿波人形浄瑠璃の魅力の発信に努めている。



勝浦座による大漁祈願の恵比寿舞(小松島市和田島町)

「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」助成金授与式



助成金授与の様子



助成団体の皆さん

令和4年度「ゆめバンクとくしま」助成金授与式が7月10日に執り行われました。助成金授与に続いて、10団体から団体の紹介や活動内容について発表がありました。様々な社会貢献活動のために助成金を有効活用してくださいね。



2023年度生(2023年4月1日学習開始)願書受付中! 教育訓練給付制度対象講座 ※「社会福祉学科 一般養成課程(1年コース)」は申請中です。

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6ヶ月コース)
一般養成課程(1年コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)

精神保健福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年7ヶ月コース)

短期養成課程(9ヶ月コース)



詳しくはこちらからHPをご覧ください。

好きを極めてプロになる

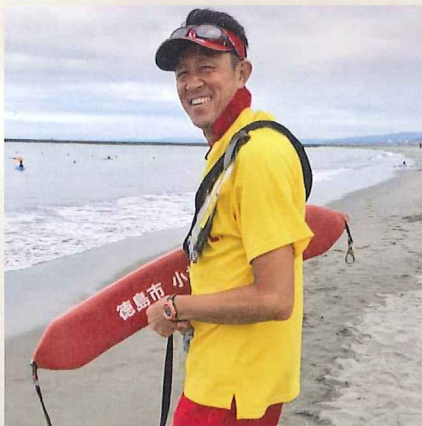
株式会社 有限会社 パティシエ福祉カレッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10

TEL.087-873-2455

ハートリレー

No.61 高田さんから住瀬さんへ



NPO法人 徳島県ライフセービング協会
すみげ あきひろ
住瀬 秋彦さん

あらゆる水辺の事故防止の為に！

2015年に、住瀬さんと共にライフセーバーになる為の資格講習を受けて早8年。住瀬さんはライフセーバーの育成講習もできる資格を取得し、一人でも多くの水難事故を無くしていけるようにと、徳島から多くのライフセーバー育成に尽力されております。また、昨年より徳島県ライフセービング協会を立ち上げ、その会長に就任され、県東部から県南部までの組織作りに熱意を持って尽力されています。

日頃から温厚で物静かな住瀬さんですが、その熱意はライフセーバーだけにとどまらず、長年されているスキーのスクールや検定員、趣味ではSUPや釣り、トライアスロンや登山など多彩なジャンルに及び、自身の体力トレーニングなどをストイックにされており、年齢を感じさせない体力と熱い想いを、若手に背中で見せてくれています。

私も良き人生の先輩を見本に、アグレッシブさを忘れずに、日々自身の身体作りやメンタルトレーニングなどを行い、一緒に水辺の事故防止活動に務められる事を誇りに思っております。

近年、川遊びや海水浴など自然と触れ合う場面は少なくなっていますが、我々としては安全に配慮をして頂いて、水辺での気の緩みが無きよう、ライフジャケットを装着していただき、自然豊かな美しい徳島を是非楽しんで貰いたいと思っております。

たかだ やすひろ
文・高田 泰弘



とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
- 【研修室利用時間】 火曜日～土曜日：10:00～21:00
- 日・祝日：10:00～18:00
- 休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
- ・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリニピア経由)」行きに乗車「マリナーミナル前」下車すぐ

NPO・ボランティア団体ポスター展示会



【常設展示】
とくしま県民活動プラザ
及びHPにおいて常設展示中

- 【巡回展示】
- 10月18日(火)～25日(火) 池田総合体育館
 - 11月10日(木)～18日(金) 阿南市ひまわり会館
 - 12月7日(水)～16日(金) 鳴門市立図書館
 - R5年1月11日(水)～20日(金) 美馬市立図書館

※その他徳島市にて開催予定
※徳島市シビックセンター・吉野川市文化研修センター・牟岐町海の総合文化センターは終了しました

編集後記 とくしま県民活動プラザでの勤務も数ヶ月が経ち、たくさんの方たちとの出会いに恵まれました。新型コロナウイルスの影響が連日報道されるなか、人と人とのつながり、絆が重要だと再認識させられています。一つ一つの縁を大切にしながら、前向きに活動していきます。令和5年も「ひと・リプル」へのご協力をよろしくお願いいたします。(森口貴彦)



CLEAN UP アドプト・プログラム吉野川
YOSHINO RIVER ADOPT PROGRAM
吉野川を私たちの手でもっときれいに！！



参加団体募集中!!
HPはこちらから↓

吉野川交流推進会議 徳島県庁 未来創生政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758

一生、いい歯と付き合うために。
「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人
徳島県歯科医師会
会長 松本 侯

ホームページ



徳島市北田宮 1-8-65 電話 088-631-3977



♪ 困ったときは、おたがいさま



♪ 支え合う人たちがいる

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金

ご協力をお願いします。 徳島県共同募金会

ホームページ



とくしま福祉広報

212号

October
2022

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内

tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250

e-mail: info@e-fukushi.jp https://fukushi-tokushima.or.jp/



包括的支援体制の構築と コミュニティソーシャルワークの 展開に向けて

～ 地域ささえあいセンターが目指すもの ～

社会福祉協議会では、令和4年徳島県総合防災訓練において、大規模災害発生後の復興期までの長期を見据えて、災害ボランティアセンター運営訓練や生活支援・地域ささえあい個別支援会議に、災害ケースマネジメントを取り入れて実施しました。

被災後、大きく変化する住まいや生活環境になじめずに孤立したり、認知機能や心身状態が低下したりすることが予想されます。さらに、災害前は支援を必要としていなかった方が、困窮状態に至るなど、新たに課題を抱えることも懸念されます。

訓練は、被災した方の自立した暮らしや住まいの再建に向けた支援に取り組みつつ、地域との継続的なつながり・関係づくりを一体的にすすめる災害コミュニティソーシャルワークの視点で生活支援・地域支え合いセンターの相談員をはじめ、参加した行政や専門職が、長期にわたる包括的支援についてシミュレーションしました。

本会では、各種情報の共有が支援の質の向上に繋がるため、市町村社会福祉協議会や関係機関の協力のもと、要配慮者世帯の基本情報や各種支援情報、地域情報などが包括的に把握できるシステムの構築に向けて、“kintone”を活用した情報の共有化・可視化を行いました。



御寄付ありがとうございます

令和4年7月、KDDI株式会社様より、本会が実施する「子どもの居場所づくり推進事業」に賛同いただき、御寄付を賜りました。
いただきました寄付金は、子ども達が集い、安全で安心できる子どもの居場所づくりのために活用させていただきます。



子ども虐待防止オレンジリボン

オレンジリボンは、「子ども虐待防止」を目的とする市民運動です。そのシンボルカラーは、オレンジ色であり、子どもたちの未来を表している。皆様が、それぞれ着けることで、子ども虐待防止の活動に参加していただくと、この活動の広がりが、社会を変えていくことができます。

徳島県児童養護施設協議会では、「オレンジリボンすだちくんピンバッチ」を作成し、オレンジリボン運動を推進しています。収益金は、次年度以降のピンバッチ作成費用に充て、オレンジリボン運動の広がりにつなげます。ぜひ、お申し込みください。(1ヶ500円(税込))

申込先：徳島県児童養護施設協議会
電話：088-654-4461
FAX：088-656-1173
メール：yougo@tokushakyo.jp



徳島県マスコット「すだちくん」

急激な物価変動に係る経費上昇に関する要望（福祉関係8団体）

令和4年7月20日、福祉関係8団体において、急激な物価変動に係る経費上昇に関して、福祉施設に対する運営支援の具体的な課題・要望をとりまとめ、飯泉嘉門 徳島県知事宛に要望書を提出しました。

要望書では、デイサービスの送迎車のガソリン代や室内冷房の電気代、食材費などが軒並み上がっているほか、生活必需品の価格にも影響が出ているなど、自助努力による事業継続が限界に近づいていることを要望しました。



徳島県では、国に対する要望を行うとともに、直ちに補正予算を編成いただき「徳島県社会福祉法人等電気料金等高騰に係る補助金」を措置いただけることになりました。

※要望書を提出された福祉関係8団体は次のとおりです。

徳島県社会福祉法人経営者協議会、徳島県老人福祉施設協議会、徳島県保育事業連合会、徳島県私立保育園連盟、徳島県児童養護施設協議会、徳島県身体障害者施設協議会、徳島県知的障害者福祉協会、徳島県ホームヘルパー協議会

徳島県福祉人材センターでは、徳島県各種別協議会等ネットワーク会議の事務局運営を担う等、平時から、地域全体の支え合い体制づくりに繋がるような種別域を超えた連携体制を模索し、緩やかな福祉ネットワーク構築を目指した活動も展開しています。

「とくしま子どもの居場所づくり推進基金」助成団体の紹介

団体名：みんな集まれ！子どもふれあい食堂

住所：鳴門市撫養町黒崎字清水 52-1 黒崎集会所内

活動目的：地域の年長者との関わりをもち、その方々の思いやりにふれる機会、また、思いやりの気持ちを引き出す。地域の方々との交流の場を提供する。

実施方法：地域の方と交流出来る居場所づくり。日曜日の昼食を提供している。

開催日：月1回、日曜日 11時～14時

参加対象：子ども・大人

参加費用：子ども 無料、大人 300円



団体名：牟岐・こどもの居場所「your place」

住所：海部郡牟岐町大字川長字新光寺82

活動目的：人口減少に伴い人間関係の固定化等により生き辛さを感じる子どもたちが一定数存在する。また、牟岐町には高校がなく、高校進学後は地域との関わりをもちにくい状況となっている。こうした町内の子供たちにとって開かれた居場所を提供する。

実施方法：大学生、退職教員のスタッフ（春・夏・冬の長期休暇中は大学生ボランティア参加）が、月4回のペースで中高生の相談やゲーム、学習支援などを行う。対面での活動が難しい時期はオンラインで交流できる機会を設ける。

開催日：月4回（平日放課後2回、休日午後2回）

参加対象：牟岐町在住の中高生 参加費用：無料



「とくしま子どもの居場所づくり応援サイト」

<https://t-ibasyo.com/>

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
地域福祉課 子どもの居場所づくり推進事業担当
TEL. 080-8633-1657 FAX. 088-654-9250
メール ibasyo@tokushakyo.jp

『ウクライナ避難民支援パートナー（ボランティア）』の登録について

徳島県社会福祉協議会とくしまボランティア推進センターでは、徳島県と連携し、ウクライナから避難された方への生活支援に関するボランティア活動の受付と活動調整を行っています。

これまでに数件、避難されている方から買い物や家電設置の立ち会い、家具の組み立て、通院などのニーズが寄せられましたので、『ウクライナ避難民支援パートナー（ボランティア）』に登録されている方々に活動いただきました。

登録者の方へは適時、ボランティア活動の基本や音声翻訳機の貸出・操作方法、簡単なウクライナ語の紹介等の説明会をオンラインにて開催しています。

『ウクライナ避難民支援パートナー（ボランティア）』やボランティア活動全般について関心のある方は、とくしまボランティア推進センターまでお問合せください。(Tel: 088-664-8211 e-mail: tokuvc@tokuvc.jp)

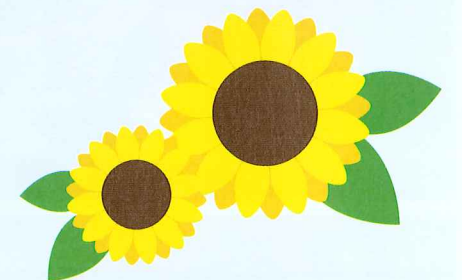
『ウクライナ避難民支援パートナー（ボランティア）』として活動を希望される方（団体）は、とくしまボランティア推進センターのホームページにアクセス又は右のQRコードを読み取り、登録フォームからお申込みください。



団体用



個人用



ひとりも取り残さない 在宅被災者支援に向けた 災害ケースマネジメント

認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション 代表 **宮定 章** みやさだ あきら



● **見落とされる「在宅被災者」**
災害後、自治体が被災した住まいを調査し、全壊、半壊等の認定がされます。そして、住まいの被害程度により、適用される支援制度等が決まります。被災者の多くは、支給される支援金と所持金と借入金で再建資金の目処がつかない場合、所持金と借入金で、住まいが直せない被災者も出てきます。例えば、東日本大震災の被災地では11年を経た現在でも、1階の床下や風呂場などに津波が運んだ泥などが残り、トイレが壊れ、柱が腐った家に住み続けている被災者がいます。支援金の受給や自力再建をせず公営住宅に入居する場合は、住まいの被害の程度が支援制度の対象から漏れた場合、自費で再建できなければ、被災したままの家に住み続けることとなります。

日本では、災害が頻繁に起き、その度に被災時の支援制度が少しずつ改善されています。ただ、住まいの被害の程度で認定されるため、対象でなければ支援されないという点は変わりません。そのため支援制度以外の方法で再建できない場合も、被災した家に住み続けることとなります。制度の対象にならない被災者

● **被害から復旧を経て始まる被災者の生活再建**
ここ数年、毎年日本国内で豪雨による被害が発生し、残念ながら、今年の夏も、局地的な豪雨災害により、各地で浸水被害が発生しました。被災地では、社会福祉協議会が中心となり災害ボランティアセンターが立ち上げられ、主に近隣市町村住民にボランティア活動への参加を呼びかけ、被災者宅の片付け等のニーズに対応しています。

● **「在宅被災者」を見落とさないために、日頃の活動でつながりを強化し、助け合える地域に**
見落とされる「在宅被災者」を支援するためには、制度改善とともに、最終的に、地域のつながりの強化が大切です。つながりには、様々な形があり、これまでの被災地でも、多くのつながりが生まれており、ここで令和2年7月豪雨の被災地、熊本県でのつながりづくりの事例を3つ紹介します。1つは地域の食文化を伝えてきたボランティアグループが、炊き出しを行い、避難所や在宅被災者へ支援情報を届け、相談に乗った事例。2つめは、地域の居場所づくりをしてボランティアグループが、これまでのつながりから支援物資を受け付けることになり、その物資を届けながら困りごとを解決した事例。最後に、訪問介護事業所を営んでいた人が、家の片付けのボランティアをつないだり、どう再建するかの相談に乗り、必要な方を紹介した事例がありました。

ありがとうございます

● 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より、吉野川市社会福祉協議会へ店舗改装等に伴う在庫商品の御寄贈
● 公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、福祉施設4か所へカーテンクリーニング技術奉仕の御提供
● 全国農業協同組合連合会徳島県本部様・JA徳島農政協議会様より児童養護施設7か所へ新米計500kgと飲料の御寄贈



施設外観
ち利用者様との関わりが一番深い介護福祉士になりたいと思うようになりまし。そして今、夢だった介護福祉士として働いています。

● **介護老人福祉施設 やまもも荘**
主任補佐 **北原 里美** きたはら さとみ
声にも耳を傾けることで、今まで見えなかった部分や表情を引き出すことができるのだと思います。見落としがちな小さな声にこそ、利用者様の想いが詰まっていると私は感じます。

● **「在宅被災者」を見落とさないために、日頃の活動でつながりを強化し、助け合える地域に**
は、支援が難しく、また助けてと言っても公的な支援が難しい立場であるため、被災者から見落とされることとなります。また、被災者は、住みだけでなく、雇用や、地域から知り合いが居なくなることで、地域のセーフティネットが使えなくなることもあります。災害前は近隣同士の情報交換で解決していたことも、情報提供者が少なくなり住み生活の再建に困る人が増える可能性があります。



小学校六年生の時、福祉施設で高齢者との交流会がありました。交流中、「ここでないと楽しいんよ。」と笑っていた利用者の方々を見て福祉の仕事に興味を持ちました。そこからボランティア、福祉施設での職業体験などに参加し、福祉について勉強していく

● **「在宅被災者」を見落とさないために、日頃の活動でつながりを強化し、助け合える地域に**
この数年、毎年日本国内で豪雨による被害が発生し、残念ながら、今年の夏も、局地的な豪雨災害により、各地で浸水被害が発生しました。被災地では、社会福祉協議会が中心となり災害ボランティアセンターが立ち上げられ、主に近隣市町村住民にボランティア活動への参加を呼びかけ、被災者宅の片付け等のニーズに対応しています。

● **「在宅被災者」を見落とさないために、日頃の活動でつながりを強化し、助け合える地域に**
見落とされる「在宅被災者」を支援するためには、制度改善とともに、最終的に、地域のつながりの強化が大切です。つながりには、様々な形があり、これまでの被災地でも、多くのつながりが生まれており、ここで令和2年7月豪雨の被災地、熊本県でのつながりづくりの事例を3つ紹介します。1つは地域の食文化を伝えてきたボランティアグループが、炊き出しを行い、避難所や在宅被災者へ支援情報を届け、相談に乗った事例。2つめは、地域の居場所づくりをしてボランティアグループが、これまでのつながりから支援物資を受け付けることになり、その物資を届けながら困りごとを解決した事例。最後に、訪問介護事業所を営んでいた人が、家の片付けのボランティアをつないだり、どう再建するかの相談に乗り、必要な方を紹介した事例がありました。



地域とお客さまの「ベストパートナー」へ

ともに未来へ
～ to the future with ... ～

阿波銀行 http://www.awabank.co.jp/

徳島大正銀行 トモニホールディングス

ボランティアで音楽を届け続けたい

がんばれ! ママーズ



ハンドベルやキーボード等を用いて高齢者福祉施設や保育園等で出張コンサートを行うボランティアグループがあります。その名は『がんばれ! ママーズ』。

平成7年、徳島県鳴門市内に全戸配布されている市民参加型のフリーペーパーに、音楽活動の仲間募集が掲載されていたことがきっかけで設立されました。

集まったメンバーは皆、子育ての真最中で、家事に仕事、とても忙しい日々でしたが、「施設の高齢者や保育園の子どもたちに音楽を届け、楽しんでもらい、私たちもその笑顔を見たい」という思いが共にありました。自分たちを奮い起

こすため、『がんばれ!』とグループ名に付けられました。

「演奏内容は利用者の状況や子どもの年齢等を考慮し、旬の曲や流行の曲なども選びます。ハンドベルは音を出すタイミングを合わせる事が難しく、事前の練習は欠かせません」と代表の波馬さん。

活動を始めた当初、ボランティアによる出張コンサートは珍しかったようです。施設に活動を受け入れてもらうため、楽器持参で直接出向き、自分たちの想いを伝えていくことから始められました。

保育園の先生同士の紹介も相まって、どんどん演奏依頼が入り、クリスマスシーズンには1年前から予約が埋まるほどになりました。

「自分たちも楽しいし、相手も喜んでくれる。『良かった』とお褒めの言葉をいただくと、本当に嬉しいんです。現在はコロナ禍のため、十分な活動はできていませんが、こども園で少人数の時間制による音楽療法を行うなど、少しでもグループの想いをつないでいけるような取り組みをしています。」

多くの施設で『がんばれ! ママーズ』の想いを奏でられる日が来ることを願います。

(令和3年厚生労働大臣表彰受賞)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



ボランティア行食用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)